

## 1. ICT委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、豊橋ICT委員会及び名古屋ICT委員会を中心に行っている。ICT企画会議のもと、豊橋ICT委員会および名古屋ICT委員会を設置し、豊橋および名古屋（車道メディアゾーン含む）情報メディアセンターの事業を推進する。

2011年10月から2012年9月に開催された各ICT委員会の議事は次の通りである。

なお、2012年度から三校舎合同のICT委員会へ統合された。

### 豊橋ICT委員会

2011年度

◇第3回 11月17日

1. 2012年度実習室環境について
2. 規程の改正について
3. 豊橋-車道校舎間回線について

#### 報告事項

1. 2012年2~3月の名古屋情報メディアセンター開館について
2. SNSの利用について
3. 教育研究用ホームページのサービスについて
4. 秋学期の実習室利用状況について
5. 次年度の予算申請について

◇第4回 12月22日

1. 実習室のソフトウェア環境について
2. 貸出ノートパソコンの配置について
3. 教職課程委員会からのPCの設置要望について
4. 7期システムの再リリースについて
5. 2012年度予算申請について
6. 情報メディアセンター利用規則の一部改正について

#### 報告事項

1. 2012年度新入生オリエンテーションについて

2. 2012年度豊橋情報メディアセンター開館時間について

### 名古屋ICT委員会

2011年度

◇第3回 10月27日

1. 2012年2~3月の開館について
2. 新名古屋校舎実習室のソフトウェア環境について
3. 規程の改正について
4. 会計大学院からのPCの設置要望について
5. その他

#### 報告事項

1. SNSの利用について
2. 教育研究用ホームページのサービスについて
3. 秋学期の実習室利用状況について
4. その他

◇第4回 12月16日

1. e-Learning講座の廃止について
2. e-Learning教材の廃止について
3. 実習室のソフトウェア環境について
4. 貸出ノートパソコンの配置について
5. 教職課程委員会からのパソコン設置要望について
6. 7期システムの再リリースについて

7. 2012年度予算申請について
8. 情報メディアセンター利用規則の一部改正について
9. その他

#### 協議・報告事項

1. 2012年度新入生オリエンテーションについて
2. 2012年4月以降の情報メディアセンターのホームページについて
3. その他

#### ◇第5回 2月1日

1. 大学院からのパソコン設置要望について
2. 新名古屋校舎情報メディアセンターの施設利用について
3. 2012年度開館予定について
4. COM募集要項等の改正について
5. その他

#### 合同ICT委員会

2012年度

#### ◇第1回 5月24日

1. ICT委員会の統合について
2. COM編集委員の選出について
3. その他

#### 報告事項

1. Moodleについて
2. 名古屋校舎の利用状況について
3. ホスト接続申請システムの運用について
4. その他

#### ◇第2回 7月19日

1. 所長の任期満了について
2. 新規ソフトウェアのインストール申請について

3. その他

#### 報告事項

1. 全学認証システムの更新について
2. その他

#### ◇第3回 9月6日

1. 所長の任期満了について
2. 情報セキュリティ委員の選出について
3. その他

#### 報告事項

1. メディアゾーンの利用状況について
2. 次年度の実習室利用アンケートについて
3. その他

## 2. 情報メディアセンター主催行事 (2011年10月～2012年9月)

### ◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月10日(月)	Word講習会	421教室	1人
10月19日(水)	Excel講習会	421教室	6人
11月16日(水)	Word講習会	413教室	3人
11月29日(火)	Excel講習会	424教室	6人
12月14日(水)	PowerPoint講習会	423教室	8人
6月11日(月)	PowerPoint講習会	413教室	4人
6月22日(金)	Word講習会	413教室	3人
7月2日(月)	PowerPoint講習会	413教室	8人
7月13日(金)	Word講習会	413教室	3人

### ◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月24日(月)	Word(応用編)講習会	E201教室	1人
10月28日(金)	Webページ作成講習会	E202教室	1人
11月11日(金)	Webページ作成講習会	第2実習室	1人
11月21日(月)	Excel(応用編)講習会	第2実習室	2人
12月16日(金)	Word(応用編)講習会	第3実習室	5人
12月20日(火)	Excel(応用編)講習会	第2実習室	5人
12月22日(木)	PowerPoint講習会	第2実習室	8人
9月24日(月)	文書作成講習会	L713教室	4人

### ◆車道校舎：主催行事なし

## 2011年度LMS運営協議会活動報告

### 1. LMS運営協議会について

本協議会は、ICT企画会議のもと、LMSの安定的な運用を行うことを任務とし、LMSシステムの利用促進及び教材の電子化促進を行い、本学における教育研究活動の発展に資することを目的として発足した。

#### (A) 委員構成

委員の構成は以下の通り。

- ① 委員長 伊藤 博文 教授 (ICT企画会議選出)
- ② 委員 蔣 湧 教授 (豊橋ICT委員会推薦)  
龍 昌治 教授 (豊橋教学委員会推薦)  
齋藤 毅 准教授 (名古屋教学委員会推薦)  
岩田 員典 准教授 (名古屋ICT委員会推薦)  
三浦 文博 課長 (情報システム課)
- ③ 事務幹事 石原 有希子 係長 (情報システム課)  
秦 俊一郎 係長 (名古屋情報メディアセンター)  
濱口 庸介 係長 (豊橋情報メディアセンター)

なお、Moodleの運営にあたっては、以下の協力を得た。

豊橋校舎担当：運営堂 森野 誠之 (運用保守業務委託先)

名古屋校舎担当：株式会社コネクティブ 内田 広幸 (運用保守業務委託先)

#### (B) LMS運営協議会

2011年度における活動は以下の通り。

◆第1回：2011年5月25日 (水) 15:30~17:00

- 議題：1. 2011年度Moodle講習会について  
2. 2011年度年間スケジュールについて  
3. 2012年度のMoodleの運用について  
4. その他

#### 協議・報告事項

- 1. 2010年度報告及び2011年度4月報告
- 2. 年度切替後の学生からのアクセスについて
- 3. 今後の協議会開催方法について (メール会議)
- 4. PHPMotion紹介
- 5. その他

### 2. Moodle講習会

Moodleの利用促進のため、Moodle利用講習会を以下の通り実施した。

①第7回 Moodle 講習会

**第7回教員向け Moodle 講習会のお知らせ!**

1. 日時 (各校別開催日) ※各校別実施日(実施)は別添付にてお知らせします。

豊橋校舎 6月15日(水) 11:20～14:50 | 豊橋校舎 6月23日(水) 11:00～12:30 | 名古屋校舎 6月23日(水) 11:00～12:30

2. 場所  
 豊橋校舎 5号館 514教室 | 名古屋校舎 第2実習室 | 豊橋校舎 高層棟 K802教室

3. 初心者向け講習内容 (1校別で40分、総時数30分)

●制作方法説明  
 ●コース・テストと検定  
 ●制作ツール  
 ●その他

4. 講師 豊橋校舎: 渡辺 浩二 | 名古屋校舎: 藤井 隆之  
 豊橋校舎: 藤井 隆之 | 名古屋校舎: 藤井 隆之

5. その他  
 ※参加費は無料です。お申し込みは必要です。  
 ※参加費は無料です。お申し込みは必要です。

お問い合わせ先  
 豊橋校舎: 豊橋校舎メディアセンター | 名古屋校舎: 名古屋校舎メディアセンター  
 名古屋校舎: 豊橋校舎メディアセンター | 名古屋校舎: 名古屋校舎メディアセンター

校舎	開催日時	場所	参加者
豊橋	6月23日 2限	5号館 514教室	9
名古屋	6月23日 2限	第2実習室	2
車道	6月15日 3限	高層棟 K802教室	8

表1. 第7回 Moodle 講習会 参加状況

②第8回 Moodle 講習会

**第8回 Moodle 講習会のお知らせ!**

1. 日時・場所  
 豊橋校舎 (高層棟 K802教室) 7月8日(金) 15:00～16:30  
 豊橋校舎 (5号館 514教室) 7月12日(火) 9:20～10:50  
 名古屋校舎 (第1実習室) 7月13日(水) 15:00～16:30

2. 講習内容 (各校別で40分、総時数30分)

●制作方法説明  
 ●コース・テストと検定  
 ●制作ツール  
 ●その他

3. 講師  
 豊橋校舎: 渡辺 浩二 | 名古屋校舎: 藤井 隆之  
 豊橋校舎: 藤井 隆之 | 名古屋校舎: 藤井 隆之

4. その他  
 ※参加費は無料です。お申し込みは必要です。  
 ※参加費は無料です。お申し込みは必要です。

お問い合わせ先  
 豊橋校舎: 豊橋校舎メディアセンター | 名古屋校舎: 名古屋校舎メディアセンター  
 名古屋校舎: 豊橋校舎メディアセンター | 名古屋校舎: 名古屋校舎メディアセンター

校舎	開催日時	場所	参加者
豊橋	7月12日 1限	5号館 514教室	0
名古屋	7月13日 4限	第1実習室	1
車道	7月8日 4限	高層棟 K802教室	1

表2. 第8回 Moodle 講習会 参加状況

③第9回 Moodle 講習会

**第9回教員向け Moodle 講習会のお知らせ!**

豊橋校舎 【初心者向け講習会】 | 名古屋校舎 【利用者向けワークショップ】

日時 11月17日(水) 11:00～12:30 / 12:20～14:50 | 日時 11月17日(水) 11:00～12:30 / 12:20～14:50

場所 5号館 514教室 | 場所 第2実習室

初心者向け講習内容 (1校別で40分、総時数30分)

●制作方法説明  
 ●コース・テストと検定  
 ●制作ツール  
 ●その他

利用者向けワークショップ内容 (1校別で40分、総時数30分)

●制作方法説明  
 ●コース・テストと検定  
 ●制作ツール  
 ●その他

講師 渡辺 浩二 | 講師 藤井 隆之

その他  
 ※参加費は無料です。お申し込みは必要です。  
 ※参加費は無料です。お申し込みは必要です。

お問い合わせ先  
 豊橋校舎: 豊橋校舎メディアセンター | 名古屋校舎: 名古屋校舎メディアセンター  
 名古屋校舎: 豊橋校舎メディアセンター | 名古屋校舎: 名古屋校舎メディアセンター

校舎	開催日時	場所	参加者
豊橋	11月17日 2限	5号館 514教室	3
	11月17日 3限	5号館 514教室	1
名古屋	11月17日 2限	第2実習室	3
	11月17日 3限	第2実習室	1

表3. 第9回 Moodle 講習会 参加状況

④第10回Moodle講習会

校舎	開催日時	場所	参加者
豊橋	3月9日 2限	5号館 514教室	4
	3月9日 3限	5号館 514教室	0
車道	3月9日 2限	高層棟 K802教室	1
	3月9日 3限	高層棟 K802教室	1

表4. 第10回Moodle講習会 参加状況

3. Moodle 利用状況

(A) コース利用状況

運用開始3年目の2011年度は、326コース、延べ160名の教員の利用があった。合計コース数は、前年度と比較して10%以上増えている。

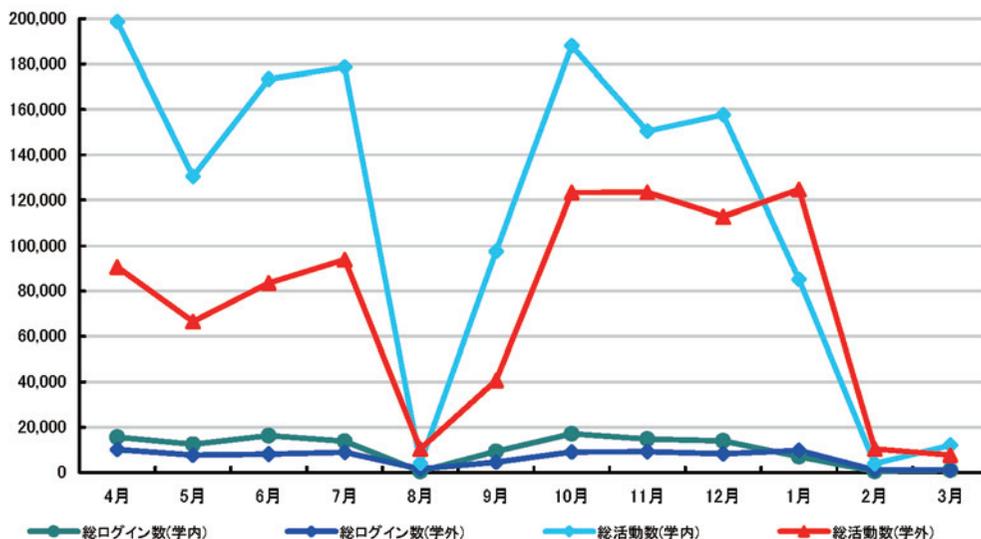
表5. 2011・2010年度コース登録数及び利用教員数（利用人数は、延べ人数）

カテゴリ	10年春学期		10年秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	27	17	40	15	67	32	180%	180%
共通教育科目〈名古屋〉	12	9	24	13	36	22	300%	280%
法	9	8	4	4	13	12	220%	200%
現中	6	4	8	4	14	8	470%	270%
経営	27	10	28	11	55	21	210%	180%
経済	20	12	16	11	36	23	140%	180%
文	3	3	5	4	8	7	270%	230%
国コミ	5	1	10	3	15	4	500%	200%
短大	8	6	16	7	24	13	340%	330%
法科	6	4	6	4	12	8	400%	270%
会計	0	0	7	5	7	5	700%	500%
大学院	1	1	0	0	1	1	50%	50%
資格課程	2	2	1	1	3	3	60%	50%
合計	126	77	165	82	291	159	220%	200%

カテゴリ	9年春学期		9年秋学期		合計	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	11	7	26	11	37	18
共通教育科目〈名古屋〉	5	3	7	5	12	8
法	2	2	4	4	6	6
現中	2	2	1	1	3	3
経営	9	5	17	7	26	12
経済	9	5	16	8	25	13
3文	1	1	2	2	3	3
国コミ	2	1	1	1	3	2
短大	3	2	4	2	7	4
法科	1	1	2	2	3	3
会計	1	1	0	0	1	1
大学院	1	1	1	1	2	2
資格課程	2	2	3	4	5	6
合計	49	33	84	48	133	81

(B) サイトアクセス状況

図1. 2011年度 学内・学外からのログイン数・活動数推移 (月別)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2009年度	総ログイン数(学内)	7,309	5,115	5,001	7,683	435	4,168	11,125	10,713	10,428	8,591	524	707
	総ログイン数(学外)	4,129	3,125	2,525	3,210	643	2,055	5,610	6,230	6,232	8,924	2,221	1,408
	総活動数(学内)	89,308	42,680	45,431	85,849	4,273	44,403	107,382	106,805	96,416	82,732	6,981	5,880
	総活動数(学外)	56,226	24,697	18,571	25,597	5,832	19,593	47,511	53,443	49,598	72,619	18,009	9,924
	ログインあたり活動数(学内)	12.22	8.34	9.08	11.17	9.82	10.65	9.65	9.97	9.25	9.63	13.32	8.32
	ログインあたり活動数(学外)	13.62	7.90	7.35	7.97	9.07	9.53	8.47	8.58	7.96	8.14	8.11	7.05
2010年度	総ログイン数(学内)	15,589	12,407	16,274	13,758	455	9,254	17,106	14,745	13,861	7,017	407	923
	総ログイン数(学外)	10,111	7,693	8,078	8,920	1,551	4,573	8,975	9,201	8,159	9,625	997	944
	総活動数(学内)	198,620	130,358	173,414	178,588	4,098	97,543	187,948	150,412	157,634	85,242	3,758	12,055
	総活動数(学外)	90,619	66,497	83,592	93,971	10,357	40,686	123,332	123,373	112,729	124,579	10,315	7,608
	ログインあたり活動数(学内)	12.74	10.51	10.66	12.98	9.01	10.54	10.99	10.20	11.37	12.15	9.23	13.06
	ログインあたり活動数(学外)	8.96	8.64	10.35	10.53	6.68	8.90	13.74	13.41	13.82	12.94	10.35	8.06
前年同月比	総ログイン数(学内)	213%	242%	325%	179%	104%	222%	153%	137%	132%	81%	77%	130%
	総ログイン数(学外)	244%	246%	319%	277%	241%	222%	160%	147%	130%	107%	44%	67%
	総活動数(学内)	222%	305%	381%	208%	95%	219%	175%	140%	163%	103%	53%	205%
	総活動数(学外)	161%	269%	450%	367%	177%	207%	259%	230%	227%	171%	57%	76%

### 3. ICT委員会構成員

#### ◆ICT委員（2012年10月1日現在）

役職名	所 属	氏 名
情報メディアセンター所長	法 学 部	中尾 浩
委 員	文 学 部	中尾 充良
	地 域 政 策 学 部	湯川 治敏
	短 期 大 学 部	龍 昌治
	法 学 部	松井 吉光
	経 営 学 部	岩田 員典
	現 代 中 国 学 部	土橋 喜
	経 済 学 部	阿部 武彦
	国際コミュニケーション学部	梅垣 敦紀
	法 科 大 学 院	春日 修
	会 計 大 学 院	栗濱竜一郎

#### ◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	三浦 文博
	係 長	秦 俊一郎
	課 員	小川 晃史
		大岡 奏子
豊橋情報メディアセンター事務室	係 長	石原有希子
情報システム課車道分室	係 長	濱口 庸介

#### 4. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織		所長（任期）		システム沿革
			豊橋	名古屋	
1978					IBM製ホストコンピュータ4331 導入
1979					
1980	電子計算機センター	電子計算機センター委員会	津村 善郎 (1980. 4. 1～1982. 4. 30)		
1981					
1982			福田 治郎 (1982. 5. 1～1983. 3. 31)		
1983			福田 治郎 (1983. 4. 1～1985. 3. 31)		
1984					
1985			高橋 正 (1985. 4. 1～1987. 3. 31)		
1986					
1987			高橋 正 (1987. 4. 1～1989. 3. 31)		
1988					第1期教育研究情報システム稼働 1988.4-1991.3
1989	情報処理センター	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会	藤田 佳久 (1989. 4. 1～ 1989. 5. 31)	坂東 昌子 (1989. 4. 1～ 1990. 9. 30)	日立製ホストコンピュータ(HITAC M-640/20) 導入
1990			藤田 佳久	浅野 俊夫	
1991			(1990. 10. 1～1992. 9. 30)		第2期教育研究情報システム稼働 1991.4-1994.3
1992			藤田 佳久	有澤 健治	
1993			(1992. 10. 1～1994. 9. 30)		
1994			樋口 義治	長谷部 勝也	第3期教育研究情報システム稼働 1994.10-1997.3 (全校舎学内LAN敷設)
1995			(1994. 10. 1～1996. 9. 30)		
1996			樋口 義治	長谷部 勝也	
1997			(1996. 10. 1～1998. 9. 30)		第4期教育研究情報システム稼働 1997.4-2000.9 (延長6ヶ月)
1998			宮沢 哲男	有澤 健治	
1999			(1998. 10. 1～2000. 3. 31)		
2000			小津 秀晴	有澤 健治	
			(2000. 4. 1～2000. 9. 30)		
			小津 秀晴	田川 光照	10月 第5期教育研究情報システム稼働
2001			(2000. 10. 1～2002. 9. 30)		
2002			龍 昌治	坂東 昌子	
2003			(2002. 10. 1～2004. 9. 30)		
2004	情報メディアセンター	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会	龍 昌治	坂東 昌子	4月 第6期教育研究情報システム稼働
2005			(2004. 10. 1～2006. 9. 30)		
2006		情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議	龍 昌治	中尾 浩	
2007			(2006. 10. 1-2008. 9. 30)		
2008		ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会	蔣 湧	伊藤 博文	4月 第7期教育研究情報システム稼働
2009			(2008. 10. 1～2010. 9. 30)		
2010			沓掛 俊夫	伊藤 博文	
2011			(2010. 10. 1～2012. 9. 30)		
2012		ICT委員会	中尾 浩		4月 新名古屋校舎システム稼働
2013			(2012. 10. 1～2014. 9. 30)		

## 編集後記

みよし市にあった愛大の旧名古屋キャンパスから、2012年3月に「ささしまライブ24地区」へ移転してから1年が過ぎようとしている。

名古屋キャンパスでは建物が新築され、教室の設備も新しくなり、教員と学生の双方にとって、全体的に快適な学習環境になっていると感じている。パソコンも教材提示装置も新しくなったパソコン実習室での授業は、やはり以前よりはるかに快適である。

教材提示装置の操作が、教卓のタッチパネルからできるようになったのも分かりやすく使いやすい。横長のモニタは教材を提示したり複数のソフトでウインドウを開いたりするときには非常に便利だ。自分の授業ではブラウザで教材を開きながら、一方で別なソフトを開くような使い方をすることが多く、このようなときに横長モニタは威力を発揮する。

しかし授業で学生を見ていると、全画面表示でウインドウを開いているときがたびたびあり、複数の画面を表示しようとしないうを見かける。全画面表示では同時に一つの画面しか見られないので、不便ではないかと思うのだが、使っている学生本人はあまり気にしていない様子であった。

ところで、国立情報学研究所（NII）が中心になり、大学の紀要などの出版物を集めた学術機関リポジトリの公開が行われている。各大学が発行している紀要などの出版物のメタデータを作成してデータベースに登録し、文献の内容が閲覧できるようにウェブを通して一般に公開している。このサービスが始まる前までは、大学の紀要などはそれぞれ独自にPDFファイルやウェブページを作成して公開するなどしていた。

今後は愛大も国立情報学研究所の学術機関リポジトリへ、学内出版物のメタデータを提供することになっており、このCOMも情報メディアセンターの紀要であるから近々公開されるだろう。学術機関リポジトリのシステムでも、著者名やキーワードなどによる文献の検索や、原文のダウンロードなどができるほかに、文献ごとにダウンロードした回数も表示されるので、これまで以上にいろいろな人が目にする機会が増えるものと思われる。

そこで考えざるを得ないのは、公開した文献などを多くの人にダウンロードして見ていただくには、それなりの内容と体裁を備えていなければならないということである。今後も今まで以上に多くの読者に見ていただける紀要になるように改善していきたい。

(K.D.)

## 愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要〈COM〉は、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

### 1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員の推薦があるものに限る）
- (4) 編集委員会が認めたもの

### 2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に關係する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

### 3. 投稿原稿の種類

投稿された原稿は編集委員会によって、下記のように区分して掲載する。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) ソフトウェアレビュー
- (4) 情報教育フロンティア
- (5) 書評（新刊・古典）
- (6) 学会動向

※原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

### 4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、プリントアウトしたものと電子ファイルの双方を提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。  
図版等のファイル形式はjpegとする。
- (5) 提出ファイルは、Microsoft Wordまたはテキスト形式とする。
- (6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の英文を添えること。

(7) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所，電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

## 5. 投稿原稿の体裁

投稿原稿は横書きとし，図・表などは適切な場所に分かりやすく挿入すること。なお，投稿原稿はCOM編集委員会にて共通したフォーマットに統一する。

## 6. 校正

(1) 校正は著者校正を2回とする。

(2) 校正段階での内容の変更は，総ページ数が増えない範囲で行なうこと。

## 7. 著作権

(1) 提出された論文の著作権は，原則として愛知大学情報メディアセンターに属し，無断で複製あるいは転載することを禁じる。

(2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は，著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害，名誉毀損，その他の問題が生じないように十分に配慮すること。

(3) 万一，執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ，第三者に損害を与えた場合，著者がその責を負う。

(4) 著作人格権は著者に属する。

(5) 本誌への掲載が確定した原稿は，愛知大学情報メディアセンターホームページにて公開するものとする。

(6) 投稿された原稿は，国立情報学研究所等へ登録される。

## 8. その他

(1) 別刷りは論文及び研究ノートに対し各30部作成し，著者代表者に無料で進呈する。

30部以上を希望する場合には有料とする。

(2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ：愛知大学情報メディアセンター

担当：情報システム課 小川・横田

E-mail：johosystem@ml.aichi-u.ac.jp

TEL：052-564-6117（内線20553）

FAX：052-564-6217（内線20569）

## 愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉執筆要項

### 1. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

### 2. 原稿

- (1) 論文……和文の場合は5000文字程度，英文の場合は3500 words程度。  
ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (2) 研究ノート……和文の場合は3000文字程度，英文の場合は3500 words程度。  
ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (3) ソフトウェアレビュー……和文の場合は3000文字程度，英文の場合は3500 words程度。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (4) 情報教育フロンティア……和文の場合は3000文字程度，英文の場合は3500 words程度。ただし，図版等の数量に応じて調節すること。
- (5) 書評（新刊・古典）……和文の場合は900文字程度，英文の場合は600 words程度。ただし，図版等を挿入することはできない。
- (6) 学会動向……COMのフォーマットに従う。  
なお，長文の原稿（24000文字以上）は分載するかまたは内容を削除する。

### 3. 著者と所属

著者名と所属を記載し，著者名のあとにカッコ（ ）に入れて所属を記載する。

### 4. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章，節，項，目などの立て方は，原則として以下のとおりとする。

(例)

1. 章タイトル
- 1.1 節タイトル
- 1.1.1 項タイトル
- (1) 目タイトル

### 5. 図・表・写真

図・表・写真は，本文中の適当な箇所に挿入すること。または，挿入箇所を明確にすること。

ただし，COM編集委員会にて挿入位置，サイズを変更する必要があるが，変更不可の場合は明記のこと。

(1) 表について

表の上部に「表○ 表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

(2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○ 図名」（○は図の一連番号）または「写真○ 写真名」（○は写真の一連番号）を記載すること。

6. 要旨とキーワード

論文と研究ノートには要旨とキーワードをつける。要旨は400字以内(200words以内)で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。キーワードは国立情報学研究所のcinii等への正確な登録のために、5～7語程度のキーワードをつける。

7. 謝辞

謝辞を記載する場合は、本文の最後に謝辞と小見出しを使い記載する。

8. 注・文献

注・文献の記載は、本文の後に1行空けてから「注・文献」という見出しを立て、その次の行から、注と文献とを一括して記載すること。本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い1)のように上付きで記すこと。

参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順に記す。記し方は次の例を参照にされたい(情報処理学会論文誌原稿執筆案内による)。

(例)

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10 (1960).
- 2) Feldman, J.and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113 (1968).
- 3) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京（1991）.
- 4) Wilkes, M. V: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York (1990).

以上